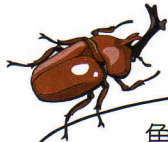


グループで学び合いタイム

自分が気が付いたことを、グループの友達に伝え合いました。自分の考えを確かめたり、自分だけでは気が付かなかった、新たな発見や気づきをしたりしました。

水色と黒色のめだかがいたよ。かわいいよ。



角が大きくて強いです。餌箱に餌を入れようとしたら、怒っていました。



どんな所がかわいいと思ったの？

クラスで学び合いタイム

発見・不思議・おもしろいと思ったこと、生き物へのメッセージ（ハートメッセージ）を、クラスの友達に発表しました。



③まとめ（ふりかえる）

自分と生き物との仲良し度を、仲良しレベルとして振り返りました。授業前より仲良くなれたと感じている子供たちが多かったです。

次の時間への子供たちの思いや願い

- もっとしっかり見たい。
- もっと触ってみたい。
- 他のグループの生き物も見たい。

<教職員による研究協議会から・・・>

- 生き物と触れ合う時間が十分にとれていたため、よく観察ができ、児童の思いが高まった。
- 観察を通して気が付いたことを、カードによく書いている児童が多かった。
- 今回は体験活動とカードへの記入時間を合わせて15分に設定していたが、時間を分けて明確にしてもよかった。
- 同じ種類の生き物を選んでいるグループがいるので、比較したり話題を全体に広げたりすると、話題を共有でき、より児童の思いや考えが深まっていくと思う。

<根本裕美先生による指導講評>

- 今回は、生き物にしっかり触れることができれば十分ねらいは達成され、子供からかきたいという気持ちが出てくる。その思いが出てきた時に、カードをかく時間を設定するとよい。
- グループで学び合いタイムでは、同じ種類の生き物を選んでいる子同士でカードを交換し、生き物への気づきを深めていくこともできる。その後、学び合いタイムを設定するのもよい。
- 児童の優しさが見える行動を全体の中で取り上げてあげると、生き物の扱いや命を大切にしようとする子供の気持ちも育っていく。